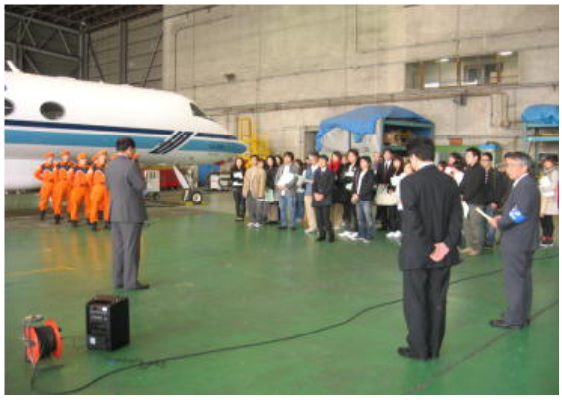
中央洋上救急支援協議会が洋上救急慣熟訓練を実施しました

■中央洋上救急支援協議会は、平成21年11月12日（木）、海上保安庁羽田航空基地において、第三管区海上保安本部、羽田航空基地、羽田特殊救難基地の支援、協力を得て、洋上救急慣熟訓練を実施しました。

■訓練には、関東地区の8ヶ所の協力医療機関（病院）の医師、看護師等33名が参加し、航空機への患者の収容状況の確認、航空機搭乗時の注意事項の説明、特殊救難隊の保有する救急資器材の確認、洋上救急出動事例の映像の紹介（ビデオ）等が行われました。

■訓練の途中で、特殊救難隊がヘリにより緊急出動する緊迫した場面もあり、訓練参加者は出動現場の緊張した状況も経験することが出来ました。

■訓練終了後の検討会で参加者からは、「洋上救急は極めて特殊な環境の中での作業であり、なおかつ現場は非常に危険であることが良くわかったので、本日の訓練を今後の業務に役立てて行きたい。」「本日の訓練に参加して、非常に参考になった。」等の感想がありました。



JAPAN COAST GUARD